

「万人のための教育（EFA）ハイレベルグループ会合」（12月11 - 13日、於ダカール）
河野外務審議官演説骨子
「Japan's perspective on assistance for education as the next G8 Presidency」

平成 19 年 12 月

1. 冒頭発言（G8 議長国としての 2008 年）

- 2008 年は、EFA 及びミレニアム開発目標（MDGs）達成期限の中間点。このような節目の年に、我が国は、G8 議長国及びファスト・トラック・イニシアティブ（EFA-FTI）の共同議長国に就任。
- 2008 年 4 月に G8 開発大臣会合及び FTI 実務者会合（Technical Meeting）、5 月末に TICAD IV、7 月に北海道洞爺湖サミットの開催を予定。
- これら一連の会合において、教育にも適切な光をあてて取組み、来年末のオスロでの EFA ハイレベルグループ会合、FTI パートナーシップ会合につなげていきたい。

2. EFA 達成に向けた進捗の現状及び課題

- 2008 年度版グローバル・モニタリング・レポート（GMR）によれば、全体の就学率は改善され、未就学児童の数は減少（特にサブサハラ・アフリカ、南西アジアにおいては、進捗のペースが顕著）。他方、公平性、教育の質向上、識字、能力向上が課題。
- これらの課題に対しては、国内・地域間の格差是正、学習成果向上、識字への取組、国内資金と国外資金の適切なバランス、既存の多様な援助チャネルの最大活用、新興ドナー及び民間セクターを含む幅広いリソースの動員、資金的支援と技術協力の補完性、能力向上への取組等が重要。

3. 我が国の重視するアプローチ

- 人間の安全保障の視点
 - ✓ EFA 達成のためには、現場の一人ひとりに最も必要な支援が届くよう、「人間の安全保障」の考え方に立って取組むべき（脆弱国における貧困層や子どもの教育等）。コミュニティベースのアプローチが重要。
- 成長・自立発展性につながる教育
 - ✓ 成長は援助依存からの出口戦略。
 - ✓ 基礎教育支援とともに、教員養成、経済成長につながる中・高等教育も含む全体的（holistic）で一貫性のあるアプローチを重視。
- 他の分野との連携強化
 - ✓ 教育は広範な経済・社会開発の基礎。貧困削減、保健、水衛生等の他の開発セクターと密接に関連。これらセクターとの連携強化を重視。

4. 結語

- EFA 及び MDGs 達成は地球規模の課題。我が国は、G8 議長国として、国際社会のモメンタムの更なる向上に努力。他のパートナーと協力して、EFA 達成に向けて 2008 年の教育関連のイベントが相互に関連し、更なる効果が上がるよう他のパートナーと緊密に協力していく所存。

（了）